

## II. 算定式（方法論項目5）

4. 純吸収量の算定 ※下記5-1から6-1に基づき、プロジェクトによる純吸収量を算定し、値を記入する。  
本欄に記載しきれない場合は、別途、吸収量算定を行った資料を添付すること。

$\Delta C_{total} = \Delta C_{FM}$		
$\Delta C_{total}$ 人為的純吸収量 (t-CO2/年)		
$\Delta C_{FM}$ 森林経営活動(間伐)に基づく、年間のCO2 吸収量 (t-CO2/年)		
2008年	=	0
2009年	=	0
2010年	=	357
2011年	=	320
2012年	=	325
合計		1002

5-1. 吸収量(地上部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$\Delta CAG = \sum \Delta CAG_i = \sum (Area_{Forest,i} \times \Delta Trunk_{SC,i} \times BEF_i \times WD_i \times CF \times 44 / 12)$	
$\Delta CAG_i$	: 森林経営活動(間伐)に基づく、階層 <i>i</i> における地上部バイオマス中の年間CO2吸収量 (t-CO2/年)
$Area_{Forest,i}$	: 階層 <i>i</i> において森林施業(間伐)が実施された森林の面積 (ha)
$\Delta Trunk_{sc,i}$	: 収穫予想表等に基づく、階層 <i>i</i> における単位面積当たりの幹材積の年間成長量 (m <sup>3</sup> /ha/年)
$BEF_i$	: 階層 <i>i</i> における幹材積の成長量に枝葉の成長量を加算補正するための係数
$WD_i$	: 階層 <i>i</i> における成長量(材積)をバイオマス(乾燥重量)に換算するための係数 (t/m <sup>3</sup> )
$CF$	: 樹木の乾燥重量から炭素量に換算するための炭素比率 (0.5)
$I$	: 1, 2, 3, ... プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層: 地位級)
計算結果については、参考資料1吸収量算定表を参照	

5-2. 吸収量(地下部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$\Delta CBG = \sum \Delta CBG_i = \sum (\Delta CAG_i \times R_{ratio,i})$	
$\Delta CBG_i$	: 森林経営活動(間伐)に基づく、階層 <i>i</i> における地下部バイオマス中の年間CO2 吸収量 (t-CO2/年)
$R_{ratio,i}$	: 階層 <i>i</i> における地上部バイオマス中の年間CO2 吸収量に、地下部(根)を加算補正するための係数
$i$	: 1, 2, 3, ... プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層: 地位級)
計算結果については、参考資料1吸収量算定表を参照	

6. ベースライン吸収量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

<p>グロースネット計上方式の場合、人為的な活動(間伐)が実施されていない土地は吸収量算定の対象とならないため、ベースライン吸収量はゼロとなる。</p>
--

7. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

<p>該当なし</p>
-------------

※欄が足りない場合は適宜欄を追加して記入すること。